

平均気象データ

(2014年～現在)

2014年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
温度(°C)	6.3	5.9	10.4	15	20.3	23.4	26.8	27.7	23.2	19.1	14.2	6.7
湿度(%)	45	52	52	56	62	75	74	74	68	67	63	55

2015年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
温度(°C)	5.8	5.7	10.3	14.5	21.1	22.1	26.2	26.7	22.6	18.4	13.9	9.3
湿度(%)	52	59	57	71	62	75	80	78	79	66	74	57

2016年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
温度(°C)	6.1	7.2	10.1	15.4	20.2	22.4	25.4	27.1	24.4	18.7	11.4	8.9
湿度(%)	55	56	61	67	66	75	80	78	86	72	71	59

2017年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
温度(°C)	5.8	6.9	8.5	14.7	20	22	27.3	26.4	22.8	16.8	11.9	6.6
湿度(%)	53	49	60	66	72	73	78	83	79	82	67	56

2018年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
温度(°C)	4.7	5.4	11.5	17	19.8	22.4	28.3	28.1	22.9	19.1	14	8.3
湿度(%)	54	56	65	66	71	80	77	77	86	74	72	61

2019年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
温度(°C)	5.6	7.2	10.6	13.6	20	21.8	21.5					
湿度(%)	51	59	60	63	65	81	91					

一般的にカビは温度20°C～30°C、湿度60%以上で生育すると言われています。

梅雨時期のカビの発生が気になる人は9割と多くの方がカビの発生に気をつけ対策意識が高まっていると言われています。

では、梅雨明け後、カビの発生を気にしている人は3人に2人と梅雨明けはカビ対策の意識が弱くなる傾向にあります。

また、カビの増殖について正しい知識をもっている人は4人に1人もいわれています。

気象データを参考にカビの繁殖意識を高めてください。参考アンケートの割合では22.2%の方が知っている(温度20°C～ 湿度60%～)

梅雨明け後も温度、湿度ともにカビが繁殖しやすい環境が続くため継続して対策を行ってください。